



自他の体を大切にする子

◆自分を大切にする行動は、他を大切にする行動

「体」の目指す子供像は「自他の体を大切にする子」。「自身の健康の保持増進や体力の向上で精いっぱい。他人のことまで…」と思われるかもしれません。しかし、自分の体を大切にする行動は、周囲の人の体も大切にする行動です。子供たちをお願いしている毎朝の検温やマスクの着用、うがい、手洗い、消毒、換気等、全てが自分にとって大切な人を守る、思いやりの行動です。「徳」の子供像、「人のために行動する子」に通じます。

◆健康観察で友達を知る、思いやる

4月当初から担任に、「一人一人と目をつないで健康観察をしてください。友達の状態に気を配る子供を育てる指導をしてください。」とお願いしています。自分の健康状態を自覚して相手にしっかり伝える子、相手の健康状態に応じた対応を考え実践する子を育てたいとの思いからです。自分の思いをはっきり言える学級、思いやりの気持ちと優しい言動にあふれる学級で、子供たちは安心して過ごすことができるでしょう。居心地がよいはずですよ。

◆自分の目標に向かって粘り強く取り組む、知恵を働かせる

先月末から今月2日にかけて、各学年の持久走記録会を行いました。自分で立てた目標タイム内で走ることを目指して粘り強く取り組むこと、目標達成に向けて知恵を働かせて走ることをねらいとした体育科の学習に子供たちは取り組んできました。「いいペースだよ。この調子!」「(目安のラップタイムから)少し遅れているよ。ペースを上げていこう!」と、声をかけ合っている学年もありました。走るのが苦手な子も途中で投げ出さず、参加した子全員が走り抜きました。とてもうれしく思っています。健康の保持増進や体力の向上にも、友達と知恵と力を合わせる城端っ子に育ってくれるといいなと思っています。(犀川)

<12月の主な行事予定>

- 1日(木) 集団登校
- 5日(月) クラブ活動
- 12日(月) さわやかデー・学校集金
委員会活動
高学年弁当の日
- 15日(木) 集団登校
- 19日(月) クラブ活動(最終)
- 21日(水) 保護者会(南山田・北野)
- 22日(木) 保護者会
(菘谷・城端・大鋸屋)
- 23日(金) 終業式・給食終了
- 24日(土) 冬季休業開始
(~1月9日(月)まで)

<令和5年1月の主な行事予定>

- 10日(火) 3学期始業式・給食開始
書初め大会
身体視力測定(高学年)
- 11日(水) 身体視力測定(中学年)
- 12日(木) 身体視力測定(低学年)
- 13日(金) 集団登校
- 20日(金) スキー学習(6年生・3年生)
- 24日(火) スキー学習(4年生・1年生)
- 27日(金) スキー学習(5年生・2年生)



ぽかぽかコラム ～3年生の取組から～

先日の持久走記録会は、天候にも恵まれ、子供たちはみんな力を発揮して一生懸命に走りました。「1秒でも縮め、自己記録を更新する」「最後まであきらめずに走る」「順位を上げたい」など、自分なりの目当てをもって体育科の学習に取り組んできました。記録会当日は、保護者の方々の声援もあり、子供たちは学習の成果を十分に発揮することができました。



その記録会の中で、「あと1周だよ、頑張れ」「あと少しだよ、頑張れ、頑張れ」「歩かずがんばったよ」「新記録が出たよ、すごいね」など、心が温かくなるような応援がたくさん聞こえてきました。

学習や記録会を通して、励まし合う姿がいくつも見られ、学年の目当ての「力を合わせ かがやく 3年生」に向けて取り組むことができました。 第3学年主任 石黒 久尚

教育活動から

持久走記録会では、ペースを守り、全力を出し切って走りました。



ボランティア活動 ～親切見付け、ちょこっとボランティア～

児童会の委員会活動では、子供たちのアイデアを生かしたボランティア活動を行っています。

企画運営委員会では、親切な行動をしている友達を見付けたらカードに書いてクラス毎の用紙に貼っていく「親切見付け」を行いました。貼られたカードの中からいくつかを紹介します。「わたしがおつゆをこぼした時、AさんとBさんが助けてくれてうれしかったです（1年生）」「Cさんは1年生が転んだとき、優しく保健室に連れて行ってあげていました。私もいろんな人に親切にしたいです（6年生）」など、たくさんの親切を見付けていました。これらをお昼の全校放送でも紹介しています。

また、環境栽培委員会では、「親切見付け」とのコラボレーション企画として、「ちょこっとボランティア」のビデオ動画を作成し、各教室で見てもらいました。「落ちているぞうきんを拾う」「本棚の本を整頓する」など、ちょっとしたボランティアの例を楽しく分かりやすく紹介しました。



<「親切見付け」の掲示物>

高学年の子供たちが、みんなのためになることを考え、実践していくことで、その活動が全校の子供たちに広がっています。 ボランティア活動担当 中筋 昌子